

2011（平成 23）年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による甚大な被害からの早急な復旧・復興を目指す文化庁の取り組みを解説するとともに、香川県教育委員会の支援、復旧・復興の現場の状況を紹介します。

1. 大規模災害からの復興と埋蔵文化財
2. 派遣職員の日々
3. 復興の状況
4. 紹介したい東北の遺跡

1. 大規模災害からの復興と埋蔵文化財

平成 7 年に発生した阪神・淡路大震災からの早急な復興のために、文化庁は、①埋蔵文化財の取扱いの弾力化、②全国からの調査員の支援による調査体制の整備、③調査経費の確保などの取り組みを行いました。これにより、3 年間で 40 の自治体から 94（延べ 121）名の埋蔵文化財職員が兵庫県に派遣されました。

東日本大震災においても平成 24 年度から派遣が始まり、27 年度までに延べ 280 名の職員が派遣され、現在も継続しています。



日和山（宮城県石巻市）から見た太平洋（被災前・被災後）